



次号のNEWSLETTERの発行は、3月を予定しています。
研究発表会の様子や本年度の研究成果の報告などを掲載する予定です。

第25回 教育研究発表会

令和6年2月16日(金)

今年度もハイブリッド開催!!
(来館または学校で参加できます!!)
お気軽にお申し込みください。

~3min.配信中~

研究課のHPにて研究の概要を動画で紹介しています。ぜひ一度、ご覧ください。



読み解く力の育成
—社会科を通じた読み解く力の育成に視点をおいた授業提案—
研究員:中村 寿樹・中村 洋平

予測困難といわれるこれからの時代において、児童生徒が自分自身で学び続けることが求められています。文章や図表を**読み解く力**はその基盤となる力の一つと考え、教科指導の中で読み解く力を高める実践を行い、教科の目標の達成とともに読み解く力を高めることを目指しています。

読むことに関する力は、継続的な活動の積み重ねによって徐々に高まるため、各教科等で読み解く力を高める視点をもった授業を行うことが必要です。より多くの教科で応用可能な方法として、授業の習得場面で、**読み解きチャレンジ**と**学びマップ**を使った取組を行っています。先生の説明(音声言語)による理解を、児童生徒が教科書の資料等(文字言語など)から情報を取り出す活動による理解に置き換える授業の進め方の提案です。2月の発表では、昨年度の理科、今年度の社会での実践を通して見えてきたことをお伝えします。

支援の必要な児童生徒が安心して学ぶことができる授業づくり
—小学校・中学校での発達障害に対する合理的配慮—
研究員:西村 和浩

チームで合理的な配慮をすすめることで、多様な特性のある児童生徒が自分の力を発揮することを目指しています。具体的にチームで行っていることは以下の通りです。

・継続的なアセスメント	・授業のユニバーサルデザイン化
・校内&教室内の環境整備	・LD等通級指導教室、保護者、教職員の連携
・合理的配慮に向けた人権意識の醸成	・教職員による児童生徒の特性理解

実践によって、困りを抱える児童生徒だけでなく、すべての児童生徒が安心して学ぶことができる授業づくりに必要なことを検証し具体的にまとめていきます。2月の研究発表会では、実践を通して見えてきた成果と課題を報告します。

**「学び続ける教師」を育む、
学び合い高め合える教職員組織づくり**
—日常的な取組の意識化、最適化、活性化—
研究員:大上 由加里

時代の変化とともに、学校現場の課題の複雑化や多様化が進んでいます。このような中でも、わたしたち教師や学校は訪れる変化を前向きに受け止め、継続的に新しい知識や技能を学ぶことが必要です。

本研究では、校内での教職員同士の学び合いを進めるためには、何か新しいことを始めるのではなく、学校長や各主任の的確なマネジメントの下、OJTを有効に機能させる三つの要素を踏まえ、既存の取組に少しのしつけや工夫を加えてより効果的に行うことが必要だと考えています。さらに、学びや取組の過程、成果、課題を**見える化**し、全教職員が**目的意識**をもって取り組むことで既存の取組がより効果的な取組へと発展し、徐々に**最適化、活性化**されるのではないかと考え、実践を進めています。

OJTを有効に機能させる三つの要素

- (1) 明確な課題の共有による全員の参画と動機付け
- (2) 伝承や育成を意識した組織づくり
- (3) 多様な学び合いの機会の設定

新時代に生きる資質・能力が育成できる教育活動
—特別活動・総合的な学習の時間を通して非認知能力を育む—
研究員:華井 崇博

Society 5.0といわれる現代の社会は、AIの発達などにより、未来を予測することが難しい“新時代”を迎えています。このような社会に対応できるよう、テストなどで数値化されることの多い認知能力を育むだけでなく、主体性や社会性をはじめとする、数値で表すことが難しい**非認知能力**の育成に注目が集まっています。

非認知能力を高めるためには「**価値ある経験**」が必要と考えています。様々な経験ができる特別活動や総合的な学習の時間の取組を、やりっぱなしの「何気ない経験」ではなく、自己の成長へとつなげる「価値ある経験」にするため、**ログコンパス**を提案し、実践校で取組を行っています。そこでの分析を基に、非認知能力を高めるために必要なことを考えていきます。

第25回 教育研究発表会のご案内

日時 令和6年2月16日(金) 14:30~17:00(14:00より入室開始)

開催方法 集合及びオンライン開催

京都市総合教育センター研究課ホームページ



参加費 無料

申込方法 Formsにて、個人でお申し込みください(申込の詳細は12月中にご案内します)。

申込期間 令和6年1月9日(火)~1月31日(水)

14:30 14:50~ 15:40 15:55~ 16:45 17:00

研究発表Ⅰ		研究発表Ⅱ	
小 読 み 解 く 力	1-I 読み解く力の育成 社会科を通した読み解く力の育成に 視点をおいた授業提案 研究員:中村 寿樹	中 読 み 解 く 力	1-II 読み解く力の育成 社会科を通した読み解く力の育成に 視点をおいた授業提案 研究員:中村 洋平
開 会 ・ 挨拶 ・ 研究の全体像について	2-I 新時代に生きる資質・能力が 育成できる教育活動 特別活動・総合的な学習の時間を通 じて非認知能力を育む 研究員:華井 崇博	小・中 総合 育成 支援 教育	2-II 支援の必要な児童生徒が 安心して学ぶことができる 授業づくり 小学校・中学校での発達障害に対する 合理的配慮 研究員:西村 和浩
		休 憩 ・ 移動	ま と め ・ 閉 会
		小・中 日常 的な OUT	3-II 「学び続ける教師」を育む、 学び合い高め合える 教職員組織づくり 日常的な取組の 意識化、最適化、活性化 研究員:大上 由加里

第2回 フレッシュせんせい教師力アップ教室

テーマ: 『明日からさっそくやってみよう!!』
~課題を発見し、解決する視点を増やしてみませんか?~

9月8日(金)に、第2回フレッシュせんせい教師力アップ教室を開催しました。今回はどの教室でも起こりうるような一つの事例について、仲間と意見を交流する中で、解決策や今後の実践に生かせるアイデアを話し合いました。「ここでの対応がよくなかった。」「ここでこうしていれば…。」など、これまでの行動を見直したり、「これからこんなことができるのではないか。」と今後の解決策を練ったりと活発な話し合いが進められていました。まとめでは、今回の事例を自分自身の実践と関連させ、明日からの実践について考えていました。一人で抱え込まず、頼れる仲間とともに子どもたちと向き合っていきましょう。



参加者の感想より (一部抜粋)

- 一つの現象に関して、原因が一つだと思い込まないことを意識したいと思った。多様な先生と話すなかで、同じ事象に対して問題と考える点が異なっていることや解決の手立てが様々あることが分かった。明日から事象に対して自分一人で解決しようとするのではなく、いろんな先生といろんな可能性を考えて、一番に生徒のことを考えていきたい。
- 悩みを一人で抱え込まず同僚や学年教員に頼ることが大切だと思いました。他校の先生方と交流することで自分の引き出しが広がったように感じたからです。余裕がないと、どうしてもマイナスな発言をしてしまいがちですが、プラスの言葉に変えてたくさん子どもたちと関わっていこうと思います。

第3回 フレッシュせんせい 教師力アップ教室のお知らせ

日時: 1月16日(火) 18時00分~19時30分

対象: (小・中・総) 任用1~3年目講師

内容: 明日から使える実践について、考え話し合います。

申込: 12月中旬頃にお知らせを出します。時期が近づきましたら、管理職の方にお聞きいただき、Formsでお申し込みください。